

[抄録様式]

<p>公益財団法人8020推進財団</p> <p>平成27年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名:</p> <p>特別支援学校における TEACCH プログラムを応用したオーダーメイドの口腔清掃法指導システムの構築</p>
<p>2. 申請者名:一般社団法人 広島市歯科医師会 会長 川原正照</p>
<p>3. 実施組織:一般社団法人 広島市歯科医師会、広島大学病院障害者歯科</p>
<p>4. 事業の概要:</p> <p>本事業は広島市立広島特別支援学校に在籍する自閉性障害を有する児童・生徒が、「できるだけ自立した口腔清掃法を獲得して、生涯を通じて『食べる楽しみ』を享受することを可能にする」こと、また、それを通じて彼らの「全身の健康維持」や「社会的な自立」に貢献することを目的とする。</p> <p>実施にあたっては、構造化された環境を構築し、共同治療者としての両親(本事業においては教職員を含む)の協力を得ながら、子どもの適応能力の向上実現を目指すなどの特色を有する TEACCH プログラム(Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped Children)の手法を応用した。</p>
<p>5. 事業の内容:事業期間:3カ年(平成 25 年度～平成 27 年度)</p> <p>(1)初年度(平成 25 年度)</p> <p>①歯科検診(全校の児童・生徒対象):同校の歯科的特徴、課題などを把握/②アンケート調査(保護者対象、教職員対象):歯科保健意識の把握/③歯科保健教育(保護者対象、教職員対象の講演):事業推進環境の整備</p> <p>(2)2年目(平成 26 年度)</p> <p>①教育:事業に参加する歯科医師、歯科衛生士、その他の希望者を対象とした講演会を開催/②歯科検診(全校の児童・生徒対象):同校の歯科的特徴、課題などを把握/③個別口腔清掃法指導(本事業の本体部分)</p> <p>(3)最終年度(平成 27 年度)</p> <p>①歯科検診(全校の児童・生徒対象):同校の歯科的特徴、課題などの把握を継続/②アンケート調査:前年度の個別口腔清掃法指導の評価/③歯科衛生士を対象とした障害者歯科診療ハンズオンセミナーの開催</p>
<p>6. 実施後の評価(今後の課題):</p> <p>&lt;学校において&gt;個別口腔清掃法指導を受けた児童・生徒は指導の回を重ねるごとに協力度が向上し、自発的な歯磨き習慣が定着し始めるなどした結果、歯垢付着状態、歯肉の状態が統計学的に有意に改善された。継続的に実施された歯科検診により同校が抱える歯科的特徴が把握された。</p> <p>&lt;歯科関係者に対して&gt;歯科医師・歯科衛生士を対象とした研修会(講義形式、実習形式)を複数回開催し、延べ約200名が障害者歯科診療に関する専門的研修を受講した。</p> <p>&lt;公に対して&gt;本事業に関連して12の学会発表(予定分も含む)を行い、事業で得られた知見を公のものとするに努めた。</p> <p>&lt;今後の課題&gt;取り組みの継続性、卒業後のフォローアップ、地域での受け入れなどの環境整備が課題と考えられる。</p>